

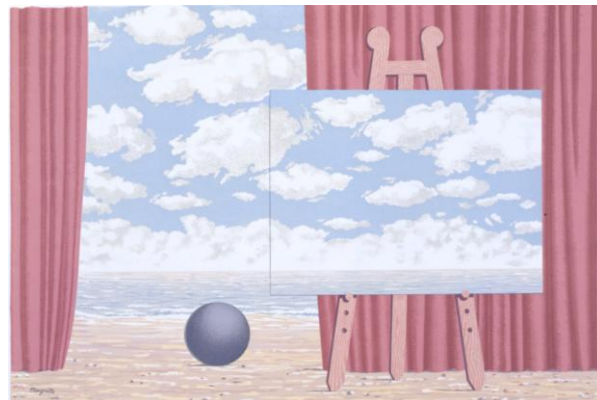
市制 110 周年・開館 30 周年記念コレクション展

## 窓—そこに介在するもの

令和 8 年 7 月 4 日（土）～ 9 月 13 日（日）

## みどころ

- 当館が 30 年かけて集めたコレクション大公開
  - 当館自慢のダリも出品します！
  - 村上隆の初期作品もお披露目
- 初公開の美術作品・歴史資料が多数！
  - 新発見の徳川家康文書
  - 800 年前の青江の名刀！太刀銘有綱
  - 気鋭の現代作家、鬼頭健吾の新収蔵品
- 学芸員一押しの作品・資料！力を込めて紹介！
  - 分解展示：本多忠勝のあの甲冑



ルネ・マグリット 《囚われの美女『マグリットの落とし子たち』より》1968 年

岡崎市美術博物館は、開館 30 周年の節目に約 2 年の改修工事休館を経て再オープンいたします。記念すべき 1 本目として、当館の幅広い収蔵品をお披露目する展覧会「窓—そこに介在するもの」を開催いたします。「窓」とは、採光あるいは通風を目的として壁や屋根に開けた開口部であり、内側と外側をつなぐ接点／隔たりです。窓枠で四角く切り取られた世界を通して、光・風・音・香・景色を私たちに提供する装置でもあるといえます。

窓に備わる機能や性質は、美術博物館が持つそれによく似ています。美術博物館は内側と外側、つまり作品や資料と人々をつなぐ接点であり、時に隔たりでもあります。それは美術博物館が展覧会を開かなければ、作品を見ることができないということでもあるからです。また、私たちが窓から様々な情報を受け取ることができるように、美術博物館も新しい概念や知識といった情報を発見し学ぶことができる場でもあります。

当館の 30 年の軌跡を辿りながら、シュルレアリスムや現代美術から考古・歴史・民俗資料に至るまで、美術博物館ならではのコレクションをご紹介します。

- 名称 令和 8 年度 市制 110 周年・開館 30 周年記念コレクション展「窓—そこに介在するもの」
- 主催 岡崎市美術博物館
- 共催 中日新聞社
- 開館時間 午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
- 休館日 毎週月曜日、7 月 21 日（火）、8 月 3 日（月）～7 日（金）は展示替え休館  
\*ただし、7 月 6 日（月）、7 月 20 日（月・祝）は開館  
\*7 月 6 日（月）は無料開館日
- 会場 岡崎市美術博物館
- 観覧料 一般（高校生以上）1,000 円（900 円）、小中学生 500 円（450 円）※市内小中学生は無料  
\*展覧会限定フリーパス「Limi-pass(リミパス)」は 1,500 円  
\*（ ）は 20 人以上の団体または J A F 等の割引料金  
\*各種障がい者手帳の交付を受けている方及びその介助者 1 名は無料

## ●お問い合わせ先●

岡崎市美術博物館 安本・田中  
〒444-0002 愛知県岡崎市高隆寺町峠 1 岡崎中央総合公園内  
TEL:0564-28-5004 FAX:0564-28-5005 Mail:bihaku-kikaku@city.okazaki.lg.jp

## ●プロローグ 窓をつくる

本展のタイトルにある「窓」をキーワードに、どのように作品を見ていくのか、学芸員の向けるまなざしや美術館・博物館に来て作品を見てくださる方のまなざしについて考察します。切り取られた枠組みから「みる」とはどういうことなのか、その多層的な意味を探ります。

### 【主な作品・資料】

- ・ルネ・マグリット《囚われの美女》『マグリットの落とし子たち』より 1968 年
- ・首里城北殿扁額《高牖延薫》 江戸時代後期 \* 1

## ●第一章 窓をあける

家康が生きた時代に呼応する美術の潮流、バロック美術に関する作品にはじまり、20 世紀最大の美術運動であるシュルレアリスムの作品、多様な現代作家による作品、そして豊かなコレクションを築き上げてきた地域のコレクターによるコレクションまで、時代と共に移り変わるコレクションの軌跡を辿る構成となっております。当館がどのように美術という窓をあけ、コレクションを形成してきたのかをご紹介します。

### 【主な作品】

- ・《受胎告知》17 世紀 \* 2
- ・サルバドール・ダリ《ダリの太陽》1965 年 ※後期
- ・クルト・セリグマン《メムノンと蝶》1942 年 \* 3
- ・村上隆《視覚の座》1996 年
- ・青木繁《わだつみいろこの宮下絵》1907 年

## ●第二章 窓からのぞく

歴史資料を中心に岡崎にゆかりのある宝物をご紹介します。当館は、市内の文化財や、生活や文化が分かる資料を保存し継承する役割を担ってきました。当館の収蔵品から徳川家康や矢作川、寺社などの岡崎の特色ある風景をのぞいてみてください。

### 【主な作品・資料】

- ・[県指定]《三遠式銅鐸》法蔵寺蔵 弥生時代後期 ※前期 \* 4
- ・[重要文化財]《如意輪観音像》大樹寺蔵 鎌倉時代 ※前期
- ・《松平家康寮屋敷判物》個人蔵 16 世紀 \* 5
- ・[重要美術品] 岡田為恭《天保施米図》 江戸時代後期 ※半期場面替え

## ●第三章 窓がきこえる

30 年かけて当館に収蔵されてきたコレクションの中から、学芸員イチオシの作品や資料をご紹介します。刀剣・漆・浮世絵・甲冑・現代美術など、学芸員がそれぞれ開けた小さな窓から聞こえる、作品たちの豊かな声をお楽しみください。

### 【主な作品・資料】

- ・《太刀 銘 有綱／（銀象嵌）伴清定石塔切 大北氏時定所持》平安時代後期～鎌倉時代初期 ※前期 \* 6
- ・初代歌川広重《東海道五十三次御油旅人留女（保永堂）》個人蔵 天保4～5年頃 ※前期
- ・北脇昇《貝殻景観》1937年 ※前期 \* 7
- ・《花鳥蒔絵螺鈿書篋》桃山～江戸時代 ※後期 \* 8
- ・[重要文化財]《黒糸威胴丸具足》（本多忠勝所用）本多大将蔵 安土桃山時代 ※後期
- ・鬼頭健吾《orion》2017年 \* 9

## ●エピソード 窓をつくる

「窓」は、のぞこうと思わない限りその存在を意識できないように、歴史や芸術も、「みる」と意識しない限り私たちの日常に立ち現れてはこないかもしれません。

窓は世界のこちら側と向こう側を分断するものではなく、むしろ親密な距離を保ち、切れ目なく世界を接続しています。窓の存在に気が付き、モノをみるという体験は私たちに何を与えてくれるのでしょうか。美術博物館での体験が、ひとりひとりに内包されているなにかと感応して、日常へと持ち帰って新しい「窓」をつくるきっかけとなることを願います。

### 【主な作品】

・ マリーナ・アブラモヴィッチ 《人間の精神のための椅子》1996年

## ★本展覧会は原則写真撮影不可です。

※一部写真撮影可の作品があります。詳細はお問い合わせください。

## ★期間中展示替えを行います。

**前期**：7月4日（土）～8月2日（日）

**後期**：8月8日（土）～9月13日（日）

【 展覧会関連イベント 】 ※中止・変更になる可能性があります。

---

## ●開館30周年記念講演会「初公開：石塔切 有綱の太刀」**事前申込制**

講 師 | 原田一敏氏（東京藝術大学名誉教授・ふくやま美術館館長）

日 時 | 7月18日（土）14：00～15：30

会 場 | 当館1階セミナールーム

参加費 | 無料

定 員 | 50名

申込締切 | 6月19日（金）必着

## ●ワークショップ「窓ってなんだ？つくってみよう！」**事前申込制**

講 師 | 岡崎ぎやざ

日 時 | 8月8日（土） ①10：00～11：30 ②13：00～14：30 ③15：00～16：30

会 場 | 当館1階ホワイエ

参加費 | 500円

定 員 | 各15名

申込締切 | 7月10日（金）必着

対 象 | 小学生以上

## ●ギャラリートーク**申込不要**

担 当 | 当館学芸員

日 時 | ①7/6（月）②7/12（日）③7/29（水）④8/26（水）⑤9/5（土）各日とも14：00～

会 場 | 当館1階展示室（開始時刻までに展示室入口前にお集まりください）

参加費 | 無料（ただし、当日の観覧チケットが必要）

## ●のぞいてみよう、あなたの窓—対話型ギャラリートーク**申込不要**

ファシリテーター（案内役）と一緒に「窓枠」を使って展示作品を見ながら、参加者同士で対話をする鑑賞会です。

日 時 | ①7/20（月・祝）②8/11（火・祝） 各日とも 14：00～

所要時間 | 30～60 分程度（途中参加、途中退席 OK です）

会 場 | 当館 1 階展示室（開始時刻までに展示室入口前にお集まりください）

参 加 費 | 無料（ただし、当日の観覧チケットが必要）

#### 申込方法 ※展覧会関連イベント共通

- ・電子申請届出システム（ネット申込）は当館 HP から
- ・はがきでの申し込み

はがき裏面に①参加を希望するイベント名②希望時間③参加者全員の郵便番号・住所・氏名・年齢（学年）・電話番号を記入の上、お申し込みください。

※1度の申込みは2人まで。申込者以外の参加不可。

※ワークショップは制作者1人につき同伴者1人まで。制作希望の場合は参加費が必要。

※1枚のはがきで複数のイベントに申込できますが、各申込×切には注意してください。

申込締切：各イベントの締切をご確認ください。

申込先：〒444-0002 岡崎市高隆寺町峠1 岡崎中央総合公園内  
岡崎市美術博物館 「窓展」 イベント係



\* 1 首里城北殿扁額《高牖延薰》



\* 2 作者不詳《受胎告知》



\* 3 クルト・セリグマン《メムノンと蝶》

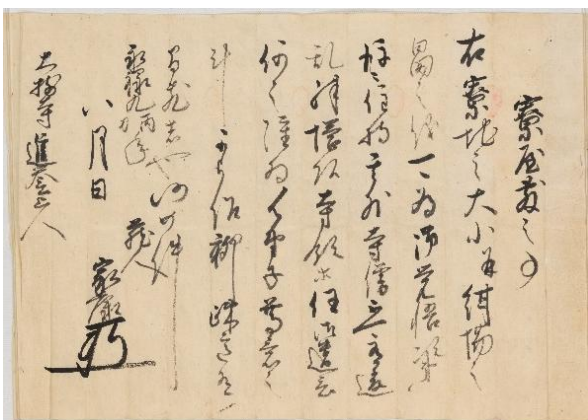


\* 4 《三遠式銅鐸》法蔵寺蔵



\* 6 《太刀 銘 有綱

(銀象嵌) 伴清定石塔切 大北氏時定所持》



\* 5 《松平家康察屋敷判物》個人蔵



\* 7 北脇昇《貝殻景観》



\* 8 《花鳥蒔絵螺鈿書筆筒》



\* 9 鬼頭健吾《orion》

